

授業科目	観光社会学				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21112J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-1			
担当教員	劉 明							
授業概要	本講義では、観光社会学が観光を捉える視点や方法を説明し、研究対象の新しい観光と多様化する観光形態を現代社会の動向に絡めて紹介する。また、観光社会学の事例研究の成果を解説する。毎回、資料を配布し、授業を行う。また、質問をしていただき、学生達の関心あることについて、話をする。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛ける。授業の感想や提案などを学生に書いてもらい、学生との交流を図る。学生の書いたコメントを読んで評価する。また、参考になるものを次回の授業にて紹介する。?							
学生が達成すべき行動目標	<p>本講義の到達目標は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光社会学が観光を捉える視点や方法を理解すること ・現代社会の動向から新しい観光を理解すること ・現代社会の動向から多様化する観光形態を理解すること ・観光社会学の事例研究の成果を理解すること 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	0		25		15		40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			25		15	20	60	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・観光社会学が観光を捉える視点や方法を十分に理解できている。 ・現代社会の動向から新しい観光、多様化する観光形態を十分に理解できている。 ・観光社会学の事例研究の成果を十分に理解できている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・観光社会学が観光を捉える視点や方法を理解できている。 ・現代社会の動向から新しい観光、多様化する観光形態を理解できている。 ・観光社会学の事例研究の成果を理解できている。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	・ガイドンス ・社会学と観光	講義	復習	60
2	・観光社会学の現状と課題	講義	復習	60
3	・現代観光の理論と実践	講義	復習	60
4	・社会現象としての観光の構造と変遷	講義	復習	60
5	・持続可能な観光の模索と実践	講義	復習	60
6	・多様化する観光	講義	復習	60
7	・観光社会学の領域	講義	復習	60
8	・隣接する学問領域	講義	復習	60
9	・観光施設の社会性	講義	復習	60
10	・観光の文化装置	講義	復習	60
11	・観光社会学の舞台－九州・沖縄	講義	復習	60
12	・観光社会学の舞台－京都	講義	復習	60
13	・観光社会学の舞台－上海	講義	復習	60
14	・観光社会学の舞台－香港	講義	復習	60
15	・総まとめ	講義	総復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃より新聞やインターネットなどで国内外の社会時事や観光の動向を把握しておくこと。			
テキスト	資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・安村克己、堀野正人、遠藤英樹、寺岡伸悟編著（2011）『よくわかる観光社会学』、ミネルヴァ書房 ・須藤廣（2008）『観光化する社会—観光社会学の理論と応用』、ナカニシヤ出版 ・須藤 廣・遠藤英樹（2018）『観光社会学 2.0—拡がりゆくツーリズム研究』?福村出版 			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この科目での学びを通じて観光の現象を見る目を涵養し、ぜひさまざまな観光を実際に体験してください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけではなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。			

